



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月31日

上場会社名 ニフティライフスタイル株式会社 上場取引所 東
コード番号 4262 URL <https://www.niftylifestyle.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 成田 隆志
問合せ先責任者（役職名） 取締役経営管理部長（氏名） 浅野 雄太 (TEL) 03(5937)3567
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年12月5日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA ※		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,159	44.4	336	△4.0	509	13.7	337	△4.6	198	△13.3
2024年3月期中間期	1,495	12.4	350	39.9	448	35.0	353	41.5	229	38.7

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 198百万円(△13.3%) 2024年3月期中間期 229百万円(38.7%)
※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期中間期	31	23	31	14
2024年3月期中間期	36	12	36	04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	6,503	5,434	83.2
2024年3月期	6,301	5,281	83.6

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 5,413百万円 2024年3月期 5,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年3月期	—	6.50	—	8.50	15.00	
2025年3月期	—	9.00				
2025年3月期(予想)			—	9.00	18.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	4,764	33.9	958	2.6	1,324	14.8	946	1.0	598	△5.2	94	02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社ドアーズ、除外 1社(社名) 株式会社Tryell

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	6,369,075株	2024年3月期	6,364,400株
2025年3月期中間期	—株	2024年3月期	—株
2025年3月期中間期	6,366,728株	2024年3月期中間期	6,351,181株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	9
(収益認識関係)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年4月1日～9月30日)における我が国経済は、観光業や消費の持ち直しを背景に緩やかな回復基調を見せました。一方で、エネルギー価格の変動や物価上昇に加え、台風や豪雨などの自然災害が経済活動に影響を与えました。地政学的リスクの高まりや世界経済の不確実性等もあり、全体として先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの中核ビジネスである不動産テック領域が属する不動産業界につきましては、コロナ禍を経て改めてライフスタイルへの関心が高まったことにより個々のニーズが多様化し、底堅く推移しております。また、当社グループ各サービスが属するインターネット広告業界の市場規模は、動画広告需要の高まりやデジタルプロモーション市場の拡大等が成長に寄与し、前年比107.8%の3兆3,330億円と過去最高を更新しております。(株式会社電通「2023年日本の広告費」より)

このような事業環境のもと、当社グループは「思いやりとテクノロジーで、一人ひとりの『幸せな暮らしの意思決定』を支え続ける。」ことをパーパスに掲げ、中期経営計画(2023年5月公表)2年目となる2025年3月期は、不動産テック領域を中心とした既存事業の売上拡大を図るとともに、周辺領域への新規展開に注力し、事業基盤の強化と収益源の多様化に取り組むことで、目標達成を目指しております。

当中間連結会計期間につきましては、不動産テック領域におきましては、2024年5月31日付で子会社化した株式会社ドアーズ(以下、「ドアーズ社」)の連結効果もあり、売上高は前年同期比で大幅に増加しました。主力サービスであるニフティ不動産では、SEO施策をはじめとするオーガニック流入増加に向けた取り組みを継続して推進してきたことから、プロモーション精度の向上及び効果的な集客が実現しており、売上高は堅調に推移しました。また、ドアーズ社のPMI(Post Merger Integration)は順調に進展しており、当社のニフティ不動産マーケティングチームとの協業による有償プロモーション最適化を推進しているほか、施工意欲の高いユーザーの獲得も進んでいることから、ドアーズ社の売上高は成長基調となっております。

ウェルネステック領域におきましては、主力サービスであるニフティ温泉では、2024年1月よりサービスを開始した電子チケットについて、導入施設の拡大を目指した営業活動に注力しており、2024年9月末時点で140施設へ拡大しました。また、ニフティ温泉のWEBでの情報発信力と、温浴施設を「リアルな場」として活用し、サンプリング等を行うことで、ハイブリッドなプロモーションを提供する「体験型広告サービス」において、季節企画が好調だったことからナショナルクライアントからの受注増加につながり、売上拡大に寄与しました。

クロステック領域におきましては、2023年9月に子会社化した株式会社GiRAFFE & Co.(以下、「ジラフ社」)の連結効果もあり、売上高は前年同期比で大幅に増加しました。主力サービスであるDF0では、SaaSツール提供によるストック型収益の成長に加え、広告運用サービスのアップセルが進んだこと等により、安定的に推移しました。また、ジラフ社が手掛ける「SEOコンサルティング」は、当年度末まで継続的な売上が見込まれる大型プロジェクトを受注し、当中間連結会計期間より売上計上が始まったことから、好調に推移しました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は2,159百万円(前年同期比44.4%増)となり、過去最高を更新いたしました。営業利益以下の各段階利益につきましては、ドアーズ社の連結子会社化に伴う一時的な株式取得関連費用の影響により前年同期比で減少しましたが、第1四半期と比較すると減少幅は縮小しております。営業利益は336百万円(前年同期比4.0%減)、経常利益は337百万円(前年同期比4.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は198百万円(前年同期比13.3%減)となりました。また、今後M&Aの進展等による償却費用の増加を踏まえ、2025年3月期より新たに開示項目としてEBITDAを追加しております。当中間連結会計期間のEBITDAは509百万円(前年同期比13.7%増)と、M&A関連費用の影響がある中でも2ケタ成長を達成いたしました。

なお、当社グループは、「行動支援サービス事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は6,503百万円となり、前連結会計年度末に比べ201百万円増加いたしました。

流動資産は4,354百万円(前連結会計年度末に比べ1,210百万円の減少)となりました。その主な要因は、ドアーズ社の株式取得等により現金及び預金が1,308百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は2,148百万円(前連結会計年度末に比べ1,412百万円の増加)となりました。その主な要因は、ドアーズ社の株式取得等により顧客関連無形資産が505百万円、のれんが900百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は1,068百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円増加いたしました。

流動負債は868百万円(前連結会計年度末に比べ132百万円の減少)となりました。その主な要因は、借入金の返済により一年内返済予定の長期借入金が82百万円、法人税の支払いにより未払法人税等が72百万円それぞれ減少した一方、ドアーズ社を新規連結したこと等により未払金が40百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は200百万円(前連結会計年度末に比べ181百万円の増加)となりました。その主な要因は、ドアーズ社を新規連結したこと等により繰延税金負債が174百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は5,434百万円となり、前連結会計年度末に比べ152百万円増加いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益198百万円の計上があった一方、配当金54百万円の支払があったこと等により利益剰余金が144百万円増加したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、3,636百万円(前連結会計年度末は4,945百万円)となり、1,308百万円減少いたしました。

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とその主な内訳は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は221百万円となりました。その主な内訳は、税金等調整前中間純利益360百万円の計上、減価償却費110百万円の計上、売上債権の減少63百万円等により資金が増加した一方で、法人税等の支払239百万円等に資金を使用したことによるもの等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は1,394百万円となりました。その主な内訳は、ドアーズ社の株式取得による支出1,374百万円、無形固定資産の取得による支出73百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は135百万円となりました。その主な内訳は、長期借入金の返済による支出82百万円、配当金の支払54百万円等であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年6月28日付の「業績予想の修正及び新たな項目の開示に関するお知らせ」で公表いたしました通期業績予想の修正における内容からの変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,945,451	3,636,765
売掛金	597,968	683,295
その他	22,484	46,372
貸倒引当金	△530	△11,801
流動資産合計	5,565,374	4,354,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,466	28,521
工具、器具及び備品(純額)	8,918	10,983
有形固定資産合計	33,384	39,504
無形固定資産		
のれん	191,837	1,092,003
ソフトウェア	313,283	323,026
顧客関連無形資産	—	505,555
その他	810	748
無形固定資産合計	505,931	1,921,334
投資その他の資産		
投資有価証券	18,550	18,550
繰延税金資産	119,648	102,149
敷金及び保証金	57,611	64,003
その他	654	2,896
投資その他の資産合計	196,464	187,599
固定資産合計	735,781	2,148,438
資産合計	6,301,155	6,503,070

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	261,230	253,937
未払金	208,505	249,202
1年内返済予定の長期借入金	82,038	—
未払費用	41,914	55,791
未払法人税等	257,436	185,376
未払消費税等	79,168	37,720
賞与引当金	54,975	61,467
その他	15,471	24,935
流動負債合計	1,000,741	868,433
固定負債		
資産除去債務	17,123	24,078
繰延税金負債	—	174,871
その他	1,666	1,381
固定負債合計	18,790	200,331
負債合計	1,019,531	1,068,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,261,278	1,262,565
資本剰余金	1,177,914	1,179,200
利益剰余金	2,827,054	2,971,806
株主資本合計	5,266,247	5,413,571
新株予約権	15,375	20,733
純資産合計	5,281,623	5,434,305
負債純資産合計	6,301,155	6,503,070

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,495,402	2,159,526
売上原価	384,976	640,436
売上総利益	1,110,426	1,519,090
販売費及び一般管理費	759,552	1,182,273
営業利益	350,873	336,817
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	10
雑収入	2,447	933
営業外収益合計	2,448	943
営業外費用		
支払利息	—	3
為替差損	143	573
雑損失	—	102
営業外費用合計	143	678
経常利益	353,178	337,082
特別利益		
事業譲渡益	—	※ 23,502
特別利益合計	—	23,502
税金等調整前中間純利益	353,178	360,584
法人税、住民税及び事業税	125,580	159,877
法人税等調整額	△1,786	1,857
法人税等合計	123,794	161,735
中間純利益	229,384	198,849
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	229,384	198,849

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	229,384	198,849
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
中間包括利益	229,384	198,849
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	229,384	198,849
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	353,178	360,584
減価償却費	77,756	110,085
のれん償却額	19,374	62,546
事業譲渡損益(△は益)	—	△23,502
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,919	6,491
売上債権の増減額(△は増加)	59,223	63,990
仕入債務の増減額(△は減少)	7,709	△7,292
未払消費税等の増減額(△は減少)	31,386	△46,414
未払金の増減額(△は減少)	△34,490	△55,583
受取利息及び受取配当金	△0	△10
支払利息	—	3
その他	5,035	△10,461
小計	522,093	460,437
利息及び配当金の受取額	0	10
利息の支払額	—	△90
法人税等の支払額	△54,934	△239,250
営業活動によるキャッシュ・フロー	467,158	221,106
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,076	△1,621
無形固定資産の取得による支出	△93,072	△73,110
事業譲渡による収入	—	55,000
敷金及び保証金の差入による支出	—	△126
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△107,258	△1,374,355
投資活動によるキャッシュ・フロー	△201,407	△1,394,213
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△82,038
配当金の支払額	△76,138	△54,007
ストックオプションの行使による収入	2,347	465
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,791	△135,579
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	191,959	△1,308,686
現金及び現金同等物の期首残高	4,206,913	4,945,451
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,398,873	3,636,765

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書関係)

※ 事業譲渡益

当社グループが提供するサービスを他社に移管するにあたり、契約上の地位の移転を実施したことによる利益であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社グループは、行動支援サービス事業を営む単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループは、行動支援サービス事業を営む単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(株式取得による企業結合)

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ドアーズ

事業の内容 外壁塗装専門サイト「外壁塗装の窓口」の運営

② 企業結合を行った主な理由

不動産テック領域における周辺領域として新たにリフォーム(外壁塗装)領域に参入し、親和性の高いビジネス間での連携を通じた業況の拡大

③ 企業結合日

2024年5月31日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とした株式の取得

⑤ 結合後企業の名称

株式会社ドアーズ

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とする株式取得により、株式会社ドアーズ議決権の100%を取得したためであります。

(2) 中間連結財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年6月1日から2024年9月30日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金及び預金 1,750,000千円

取得原価 1,750,000千円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 71,500千円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん

962,713千円

② 発生原因

今後の事業展開によって期待される超過収益力であります。

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	518,943	千円
固定資産	41,882	
資産合計	560,825	
流動負債	129,922	
固定負債	6,926	
負債合計	136,848	

(7) のれん以外の無形資産に配分された金額及びその主要な種類別の内訳並びに全体及び主要な種類別の加重平均償却期間

種類別の内訳	金額	加重平均償却期間
顧客関連無形資産	555,435 千円	12年
合計	555,435	12年

(8) 企業結合が連結会計期間の開始の日に完了したと仮定した場合の当中間連結会計期間の中間連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは、行動支援サービス事業を営む単一セグメントであり、主要な顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
顧客との契約から生じる収益		
不動産テック	1,162,071 千円	1,642,541 千円
ウェルネステック	145,412 千円	173,518 千円
クロステック	187,918 千円	343,466 千円
顧客との契約から生じる収益 計	1,495,402 千円	2,159,526 千円
その他の収益	— 千円	— 千円
外部顧客への売上高	1,495,402 千円	2,159,526 千円